



農林水産
大臣賞

管理・点検で安全なため池づくり

かいぼり復活大作戦



ため池♡里海交流保全

かいぼりでため池と海をつなげよう

ため池♡里海交流保全

農業農村
分野

ため池♡里海交流保全

農業者と漁業者との連携によるため池の保全

取組概要

農業者と漁業者が連携して行う ため池の「かいぼり」作業を通じ、ため池の保全と里海を再生する取組。

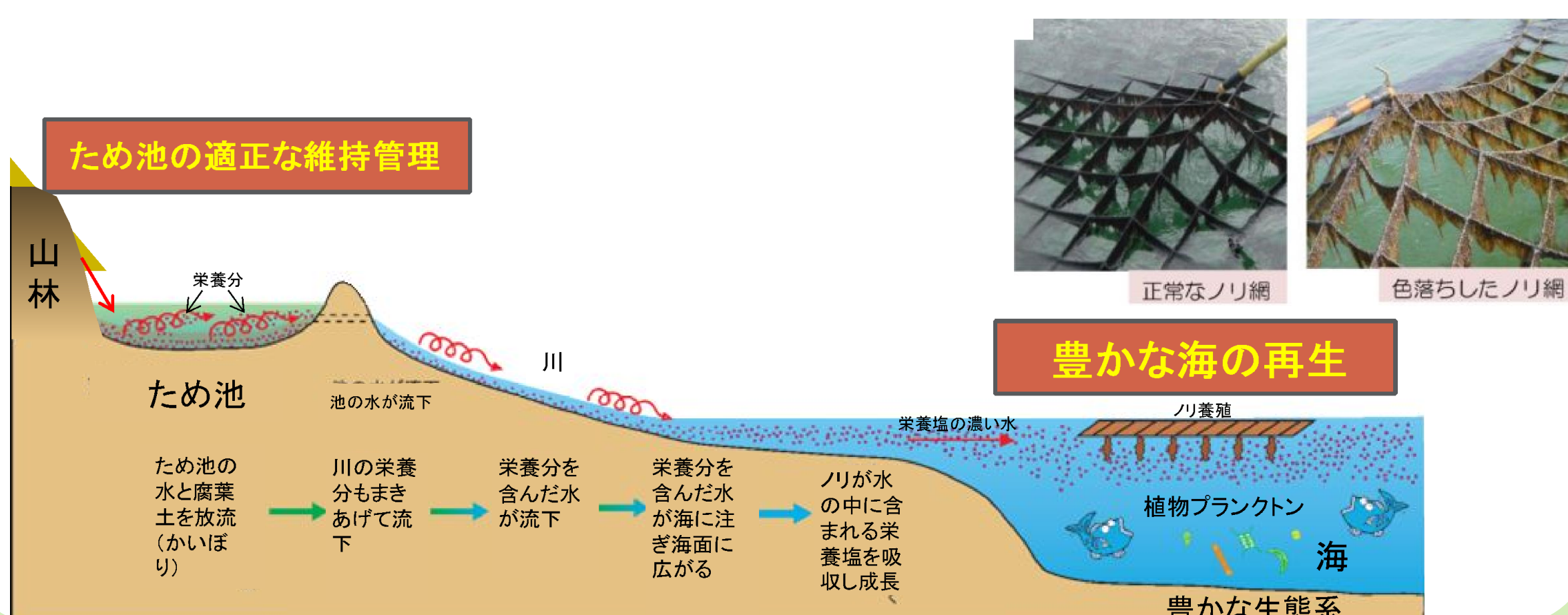
受賞理由

ため池の適正管理が出来ず困っていた農業者と、養殖ノリの色落ちに悩んでいた漁業者が共同で「かいぼり」を行うことで双方の抱える問題を解決しただけでなく、活動の輪を淡路島全域に広げたことが高く評価された。

取組のポイント

ため池では近年農業者の減少と高齢化で「かいぼり」の実施が困難になり、ため池の管理が行き届かなくなっていた。また里海では下水道の普及等により窒素・リンの供給が減り、ノリの色落ち等漁業生産に影響が出ていた。

農業者と漁業者が共同で「かいぼり」を再開したことで、ため池は適正な管理が出来るようになり、里海には、ため池に溜まった山の栄養分を含んだ堆積土が供給され、ノリの色落ちの軽減に繋がっている。また「かいぼり」と同時に行う特定外来種の駆除活動は地元小学校や学生の環境教育の場となり、交流の輪が広がった。



受賞者について



受賞者

淡路東浦ため池・里海交流保全協議会

構成団体：河内地区ため池協議会・小田地区ため池協議会

森漁業協同組合・仮屋漁業協同組合・ため池田主

コメント

このたび第2回インフラメンテナンス大賞で農林水産大臣賞を受賞したことを光栄に存じます。今回の受賞を励みに、今後とも「かいぼり」を通じて幅広い団体と連携し、地域の財産であるため池及び里海の保全に尽力して参ります。

団体概要

平成20年に淡路市浦川流域の農業者と漁業者が連携し「かいぼり」を再開したことを契機に組織を立ち上げました。平成22年には活動範囲を旧東浦町全域に拡大すると共に、機材の貸し出し・指導を通じ淡路島全島で「かいぼり」の普及啓発を行っています。

問い合わせ先

淡路東浦ため池・里海交流保全協議会

会長 谷正昭

携帯:090-8882-3036

Mail: tani1119@hb.tpl.jp